

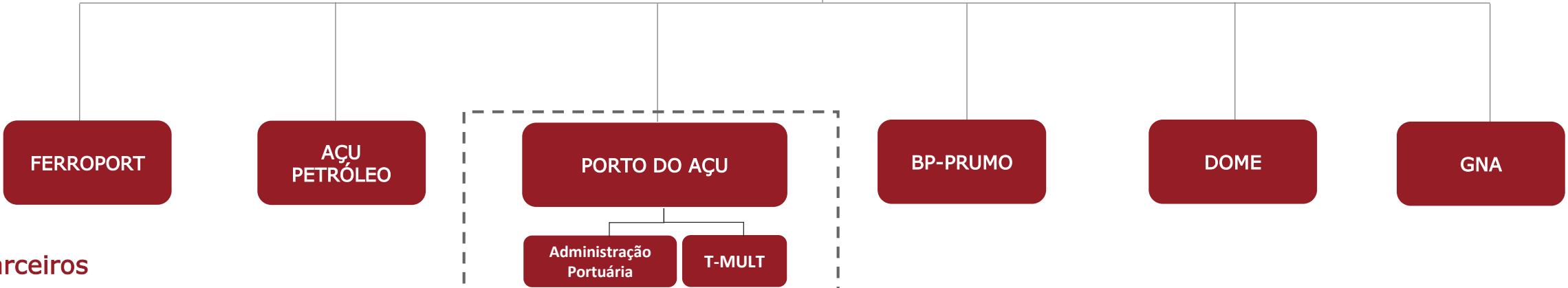


PORTO DE OPORTUNIDADES

ビジネスチャンスにあふれる港
アスー港コンビナート



PRUMO社の事業体制



Parceiros



- 鉄鉱石輸出を主目的とした英Anglo American社との合併会社
- 2014年に操業開始

原油積み込みターミナルを運営する
独Oiltanking社との合併会社
英蘭Shell社と20年契約締結
2016年に操業開始

- 土地の賃貸借
- 長期契約による確実性確保
- 個体ばら積み貨物及び規格外・特殊貨物用ターミナル運営
- 2015年に操業開始
- ポーキサイト、コークス、重量貨物その他ばら積み貨物の取り扱い

船舶用燃料の販売を主事業とした英BP社との合併会社
2016年に操業開始

物流ソリューションを提供する、蘭系GranIHC社との合併会社
海洋構造物や船舶用モジュール建造
廃棄物処理

LNG関連事業・液化天然ガスの貯蔵、再ガス化、ガスパイプライン、天然ガス火力発電所
事業開発中

アスー港コンビナートの行動指針



安全・保護の徹底

事業、人身、設備や環境へのリスクを排除・緩和し、万全な状態を保障すること。



持続可能性

ステークホルダーが社会、経済、環境効果を得られる、恒久的な活動を展開すること。



事業の健全性

- 透明性
- 倫理規定
- 利害関係人との誠実な付き合い
- 明確なアジェンダ公開



強調体制

- 課題や機会の共有
- 問題解決の共同策定
- 全体にとって最も最適な措置を協働で実施すること。



効率的な業務

約束された納期に高品質なサービスを、最小限の資源を利用して提供すること。



アスー港コンビナートの行動指針



強調体制

- 課題や機会の共有
- 問題解決の共同策定
- 全体にとって最も最適な措置を協働で実施すること。

2017年（平成二十九年）7月
アントワープ国際港（P A
I）と提携合意書を締結



2018年（平成三十年）9月
ヒューストン港と協力合意
書を締結



新進気鋭の「チャンス」と、世界の名港の「経験」の融合



数字で見るアスー港



総面積
130km²



港湾の従業員数
約 4,000 名



操業中の企業数
11社



ラ米最大の
港湾コンビナート



鉄鉱石
年間取扱能力
2650万トン



岸壁 全長3キロ
(運転中)
1.7キロまで拡張可能



数字で見るアントワープ港



総面積
130km²



港湾の従業員数
約 61,500 名



工業港湾内で
操業中の
民間企業数
約1,000社



欧州
第2位、
世界
第15位
の
コンテナ
港

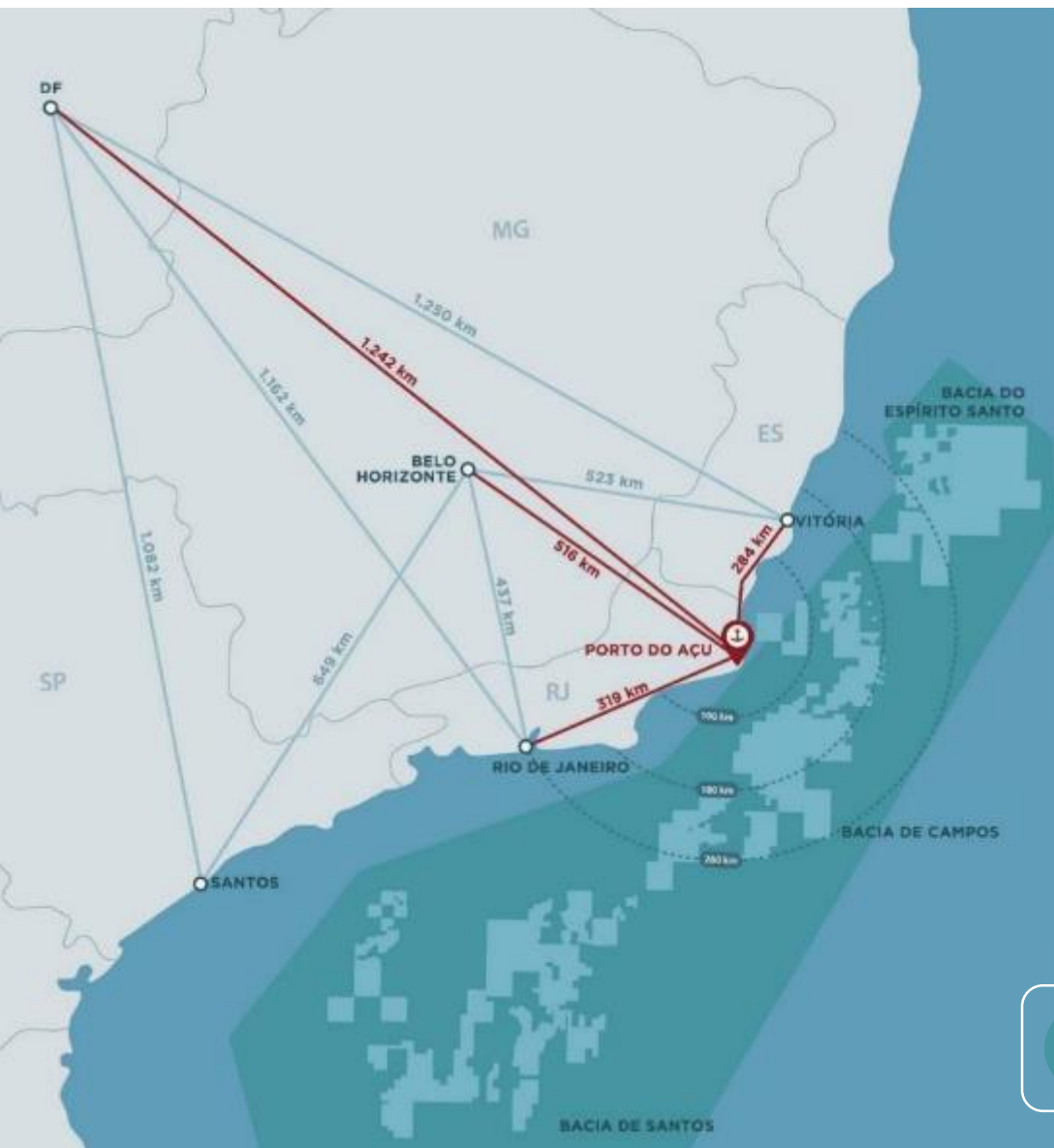


海上取扱い
貨物数量
約2億1400
万トン



コンテナ
取扱効率
全欧州
第一位

ブラジルのGDPの53.2%を担う経済中心地 南東部における戦略的立地



● PRÉ SAL



アスー港湾 総面積 130Km²

オンショア航路全長
パナマ運河の約

50%

工場や企業の設置用の
臨港地区

90km²

総面積
マンハッタン島の

1.5倍

コパカバーナ海岸の

31.7倍

サッカーフィールド

7,552個分

ブラジル最大の工業港湾コンビナート

T2: 水深10 ~14.5 メートル

T1: 水深 20.5 ~25メートル



100% 民
営、2014
年より操業



11社が進出
済



ボトルネッ
ク無し、待
機時間なし
の高効率運
転



従業員数約
6千名



操業中の岸壁
全長3キロ、
17キロまで拡
張可能



新規の貨物、
顧客対応可能
な多機能港



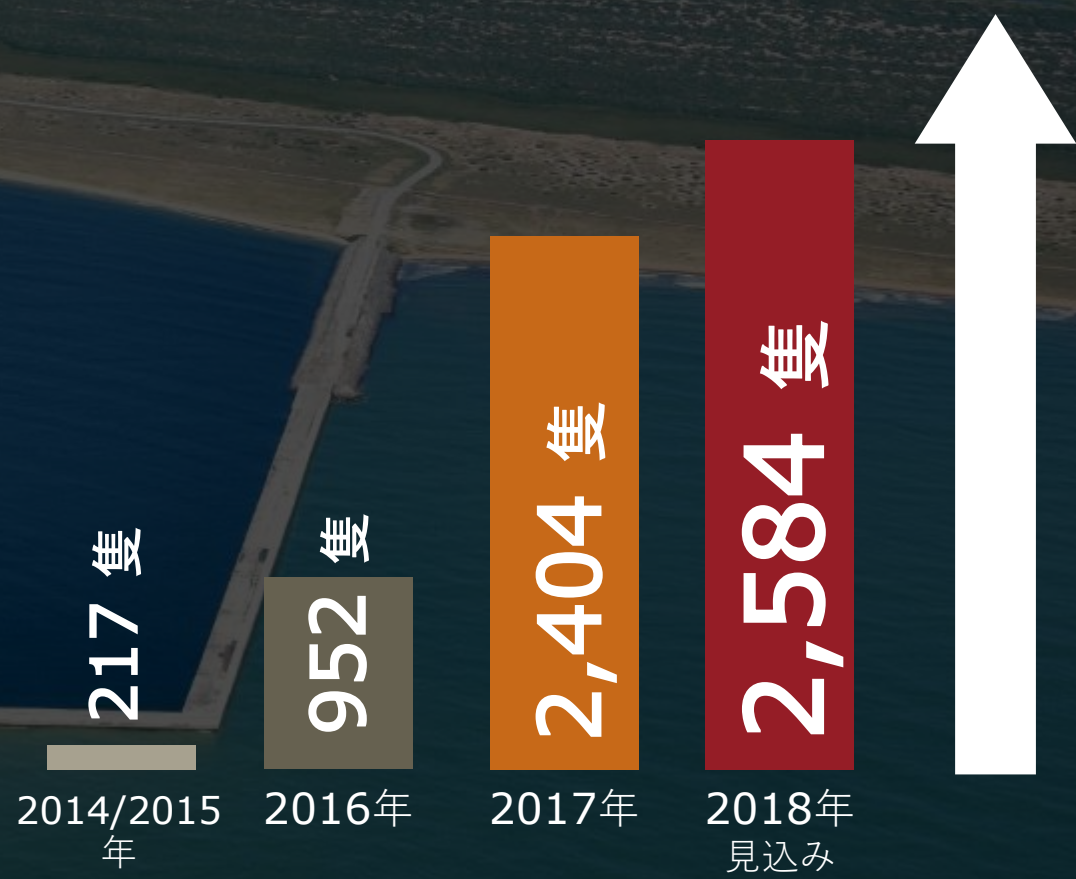
環境認可取得
済みの
潜在火力発電
能力6.4 GW



世界最大のオフ
ショア支援基地
Edison Chouest



6,157 隻



累積入港船舶 隻数

多目的貨物ターミナル



- Prumo社と蘭Port of Antwerp International社の合併会社
- 初期取扱能力400万トン
- 有利なインフラ整備（水深14.5メートル、貯蔵ヤード面積100万平米で、積み込み業務、フィーダーサービス、小型船舶への積替えなどのサポート
- 官僚手続が少なく、コストの最適化が得られる民営ターミナル
- 渋滞が発生しない高速道路へのアクセス完備。連邦政府の物流・インフラ整備政策に鉄道路線が二線包含。
- Door-to-door統合ロジスティックス提供
- 2016年より操業



年間平均取扱量増加率

115%

163 k ton

2015・16年

4社、
品目3種

566 k ton

2017年

8社、
品目4種

750 k ton

2018年
見込み

14社、
品目6種類



多目的貨物埠頭





鉄鉱石ターミナル

- Prumo社と英 Anglo American社の合併会社が運営
- Anglo American社と2650万トンの出荷を保障する25年契約締結済み
 - 年間取扱い鉄鉱石重量2650万トン
 - 2014年に操業開始
- 民営鉄鉱石輸出ターミナルのうち、2017年度取扱量は第4位の実績（出所・水運庁 Antaq）

国内第4位の 民営埠頭

2017年度鉄鉱石輸出量基準

出所：水運庁



鉄鉱石ターミナル

44,643,420 トン

239,591 トン

2014

8,821,145 トン

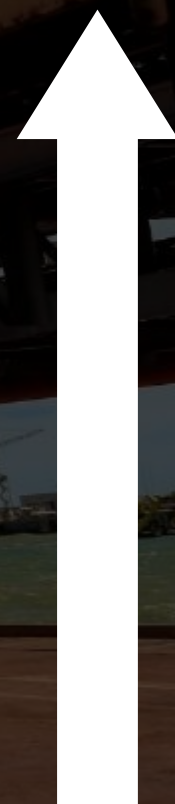
2015

15,857,822 トン

2016

16,508,023 トン

2017

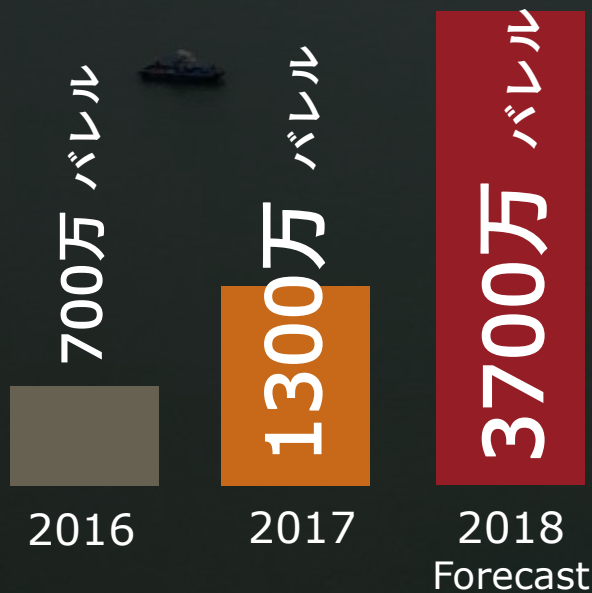


原油ターミナル



- Prumo社と独Oiltanking社の合併会社
- 英蘭Shell社と20万バレル／日の取扱い保証量の20年契約を締結済
- ポルトガルのGalp社と3年契約締結済
- 国内の民営港湾で唯一、VLCC船（超大型タンカー）の受入れが可能なターミナル
- 原油の貯蔵（1千万バレル）、処理及び混合能力を付加する拡張計画あり
 - 認可済み取扱量120万バレル／日
 - 2016年より原油の積込み運転

累積取扱原油量
5700万バレル



累積荷卸し回数
57回 (内VLCC
船7回)
(Very Large Crude Carrier)



| 原油ターミナル



- Prumo物流社と英BP社の合併会社
- BP Marine社の高品質燃料
- 最高水準の安全基準で常時給油可能、MGO（船用ガスオイル）を港内または原油プラットフォーム・ドリルシップでの直接引き渡しに対応
- 2016年より操業

BP PRUMO船用燃料ターミナル

- Prumo社と蘭系GranIHC社の合併会社
- 船舶の補修・修繕
- 海洋構造物の長期保管(「冬眠」)
- 海底作業や解体などの業務支援
合
- TechnipFMC社と海底油送管配置
基地(Spoolbase)の建設に関する
契約を締結
- 2016年より操業

石油・ガス産業用 統合サービスターミナル

GNA火力発電プラント群



- ラテンアメリカ最大の複合発電所になる見込み
- 売電入札で連邦政府から将来優秀発電企画賞を受賞した火力発電所2基で3 GWの発電予定。
- 追加発電3.4GW案件の環境認可、取得済み
- 1400万立米のLNGの輸入が可能なターミナルを保有
- 独Siemens社開発による先端技術を駆使して設置される、高効率・柔軟な運転を実施する期待。
- リオ・デ・ジャネイロ州の発電能力を30%以上増強、ブラジルのエネルギー安全強化に貢献。
- 全長50キロの送電線により、全国グリッドに売電可能。
- 海底ガスパイプラインの計画推進中。将来、アスー港に連動した天然ガスを納入する潜在力あり。
- 建設中、2021年1月に運転開始予定。



ラテンアメリカ最大の火力 発電所所集合体

認可済み発電能力6.4 GW

1.3 GW

2021年

1.7 GW

2023年

3.4 GW

2025+年



| GNA火力発電プラント群

EDISON CHOUEST ターミナル

- アスー港内に設置された、世界最大のオフショア支援基地です。
- 9つのバースを使用して月間250件以上の役務を実施。7バースはPetrobras社が、1バースは米Chevron社との契約済み。
- 岸壁全長1キロ以上、総面積60万平米以上。

お客様の拠点機能

- 海洋構造物サプライヤーとして重要な位置づけにある米NOV社、仏Technip社、米InterMoor社、フィンランドのWärtsilä社などの大手顧客がコンビナート内に拠点を設置しています。





建設中のインフラ整備

- Açú 輸出加工区 (Z P E)
- 物流コンドミニアム
- トラック センター
- コンビニエンス・センター
- ヘリポート
- 隣港地区内ホテル
- 道路・鉄道によるアクセス強化



| 現在のアスー港



| 将来のアスー港

持続可能性

当社の取引は全て、持続可能な社会・環境・経済
開発を指針としています。



RPPN
CARUARA
portodos

■ Caruara 自然保護区

保護面積40km²

国内最大の民間
砂州保護区

植物
75種以
上

緑化帯域

火ルアーラ保護区と
リオ・デ・ジャネイロ州立
環境保護地区の連結用
植樹帯域を導入

■ 地域社会への参加

70+% 3,600+名

従業員中の
地元出身者
採用比率

社会福祉活動に参
加中の人員数



■ ウミガメ保護活動

60万匹 以上
子ガメ放流
件数

放流活動
毎年13回
近隣住民参加の
指導活動

10周年
2018年で
事業継続
十年間達成

62 km
毎日監視を行っ
ている海岸線
全長

■ 地域発展

地元地域開発審議会を開催

地域住民の利害に関して主要なステー
クホルダーとの活動に従事

アスー輸出加工区（ZPE）

輸出加工区とは、輸出市場を対象とした経済特区で、税制・為替・事務手続に関して優遇制度が享受出来る法定領域です。アスー港は、連邦政府よりZPEとして新規に認定されています。

税制恩典

- 国内で資産を取得（新品・中古であるかに関わらず¹）する場合、下記の恩典が付与されます。
IPI、COFINS及びPIS/PASEPの各租税公課は保留
固定資産の購入にかかるICMSの税率差分は減税。
ICMS還付による税債務相殺の権利を納税者が有する場合は、維持²。
 - 国外で資産を取得する（新品・中古であるかに関わらず¹）する場合、下記の恩典が付与されます。
IPI、II、CONFIS（輸入）、PIS/PASEP（輸入）、AFRMの各租税公課は保留。
ICMS（輸入）は免除³
- ¹ 固定資産に組み入れられる資産に適用。 | ² 還付金は、ICMSの税債務と相殺することにより、納税額を減免することが可能。
| ³ ZPE内に所在する事業所が実施する輸入に限る。

為替制度

為替の規制緩和が付与され、輸出による収入の100%外国に保持することが認められる。

事務手続

連邦当局の許認可が一切免除
上記の各権利が20年間保障される法的確実性。なお、更に20年間延長可能。
保税倉庫扱いなので、第一種輸出区として認められる。

アスー港ZPEのメリット

- ✓ アスー港コンビナート内に所在する立地
- ✓ ZPE固有の連邦・州・市の税制特典が適用
- ✓ ブラジル南東部で開発中の唯一のZPE
- ✓ 民間経営
- ✓ 工業港湾ならではの物流インフラ・製造業への支援体制
- ✓ 人材育成が整った地方





アスー工業港湾内の戦略的な立地



多目的貨物ターミナル

アスー港 ZPE

カボ・フリオ (CFB) ・ 247キロ
 ヴィトリア (VIX) ・ 291キロ
 リオ国内 (SDU) ・ 322キロ
 リオ国際 (GIG) ・ 325キロ
 カンポス・ドス・ゴイタカーゼス (CAW) ・ 59キロ



連邦政府物流拡張計画鉄道
 EF 118 (リオ・ヴィトリア鉄道) - 投資
 パートナーシップ計画に包含
 EF 354 (大西洋・太平洋連絡鉄道)



BR 101、040及び116号の各国道
 州道RJ-244号によるアスー港への高速道路
 連絡事業、推進中



ターミナル9カ所、うち3カ所は保税
 倉庫保有



アスー港ZPEの潜在的な業種



建築用 天然石材



石油化学



機械金属



鉱業



農工業

OBRIGADO!
ありがとうございました!

連絡先
comercial@prumlogistica.com.br
T + 55 21 3725 8000
www.portodoacu.com.br

portodoacuoficial



prumo-logistica-s-a



porto.do.acu



prumlogistica



imprensa.acu

